

三鷹市立第七中学校 令和4年度【道徳】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の発問を利用しつつ、より身近で生徒が考えやすい発問をする。 ○多様な意見が出る発問を考える。発表の機会を多くし、他者の意見をよく聞き、新たな考え方をもちだせる。 ◎生徒の意見を互いに共有させることを意識し、発表と聴写の時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○どうしてもグループでの話し合い等の時間が少なくなっている。 ○自分の意見を考えることはできるが、人前で話すことが難しい生徒がいる。 ○授業のまとめ、振り返りの感想を見ると、物語の表面的な部分にのみ触れ、本義に達していないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の題材を細かに分けて説明、解説していき、生徒全体が話の主題を理解できるようにする。 ○短時間でも話し合い活動が活発になるような題材、発問を精査する。また、自身の考えの文章化、聴写の時間を確保して、考えをまとめる時間を設ける。 ◎生徒の意見を共有させるため、発表だけでなくホワイトボード、タブレットでの提示など、多様な手段を取り入れる。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の発問を利用しつつ、より身近で生徒が考えやすい発問をする。 ○多様な意見が出る発問を考える。発表の機会を多くし、他者の意見をよく聞き、新たな考え方をもちだせる。 ◎生徒の意見を互いに共有させることを意識し、発表と聴写の時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グループワークが少ない。 ○自分自身の考えはもっているが、発表になると手が上がらないことが多い。 ○各自のまとめが、主発問やテーマに沿わないものが多く、より丁寧に発問の仕方や授業の展開を考える必要がある。 ○授業のまとめ、振り返りの感想を見ると、物語の表面的な部分にのみ触れ、本義に達していないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の内容を使用しながら、生徒にとって身近な内容に置き換えて考えさせる。 ○発問内容を精査し、多様な意見が出るようにする。 ◎生徒の意見を互いに共有させることを意識し、発表と聴写の時間を確保する。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の発問を利用しつつ、より身近で生徒が考えやすい発問をする。 ○多様な意見が出る発問を考える。発表の機会を多くし、他者の意見をよく聞き、新たな考え方をもちだせる。 ◎生徒の意見を互いに共有させることを意識し、発表と聴写の時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○意見の交換は多少できるようになってきた。しかし何度も議論し、自然と意見を深めていくような状態には達していない。 ○タブレットの導入により、意見を書くのが苦手であった生徒が活発な意見交換をするようになった。 ○多くの意見交換をするための時間が足りない。授業計画を練り直す必要がある。 ○自身の考えの記入と、授業前後の変化などを毎時間記入させており、生徒の変容を確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○なるべく多くの意見を取り上げるため、生徒の発言機会を増やす。 ○タブレットを有効活用し、意見集約の時間を減らす。集約した意見を視覚的にわかりやすくする。 ○生徒自身が自身に照らし合わせて主体的に考えられるような題材や発問を工夫する。 ◎生徒の意見を互いに共有させることを意識し、発表と聴写の時間を確保する。